

とちぎ森林

JForest 栃木県森林組合連合会機関紙

発行／栃木県森林組合連合会
住所／宇都宮市西一の沢町8番22号
TEL 028-637-1450 FAX 028-637-1454
URL <http://www.tochimori.or.jp>
E-mail info@tochimori.or.jp



第349号



令和6年新年を迎えて

栃木県森林組合連合会代表理事長 江連比出市



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

まず、元日に発生しました能登半島地震により亡くなられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された多くの皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

系統森林組合員の皆様方には、平素より県森連の事業推進に格別のご理解とご支援を賜り、深く感謝いたしております。

さて昨年は、ウクライナ問題の長期化や中東情勢の緊迫化など国際情勢では、不安定な状況が続いているものの、新型コロナウィルス感染症が感染症法の5類に移行したことにより、国内経済は動き出し、コロナ禍以前の状況に戻りつつある年となりました。

また、栃木県は誕生150年を迎え、県森連でも誕生記念協賛行事として「森林組合の日全県大会」を行うなど、1年を通してオール栃木で盛り上がった年でもありました。

こうした中、共販事業についてはウッドバブルの余波により、木材価格は乱高下しましたが、年間平均単価は13,512円/m³、取扱量は200,667m³となりました。過去最高の令和4年には一歩届かなかったものの、近しい取扱量となりました。ひとえに組合の皆様のご尽力の賜物と感謝申し上げます。

私たち森林組合系統は、循環型林業の確立を掲げ、主伐・再造林に取り組んでいます。今後は、昨年10月に花粉症対策の初期集中パッケージとして政府が閣議決定した、スギの人工林の重点的な伐採・植替えを行う取組と連携して、「JForestビジョン2030」の目標達成に向け邁進していく所存です。

現場を担う人づくりについては、昨年本県内で1億円を超える国庫支出金を確保できるなど、人材の育成・確保が強化できた年となりました。更なる体制強化のために、これらの人材の労働災害防止など、安全管理の徹底にご協力くださるようお願いいたします。

結びに、今年の干支は甲辰（きのえたつ）です。勢いを増しながらぐんぐんと成長していく年と言われています。県森連では昨年度に引き続き、ドローン事業を用いたスマート林業の普及を推進するとともに、木材の直送販売、人材育成や予算要望に努め、積極的な事業展開を図ってまいります。また栃木県では、「栃木県林業大学校」を4月より開講することから、林業の人材育成に大きな期待感を抱いているところです。令和6年も皆様にとって幸多き一年となりますよう祈念するとともに、これまで以上のご支援とご協力を願いいたしますて新年のご挨拶といたします。

政策要望活動の実施

令和5年度は、森林環境譲与税の譲与基準見直しの要望を福田知事に対して行ったほか、令和6年度林業政策等要望を県選出自民党国会議員に対して行いました。



福田知事(大栗次長代理受理)に
要望する県森連役員

	要望内容	要望先	実施者
5月9日	森林整備を一層推進するための森林環境譲与税の譲与基準の見直しについての要望	栃木県選出自民党国会議員	佐橋専務
6月15日	//	福田知事 (大栗次長代理受理)	江連会長、澤田副会長、県森連役員
10月24日	令和6年度林業施策・予算に関する要望	栃木県選出自民党国会議員	江連会長、澤田副会長、県森連役員他
8月25日	令和6年度林業施策並びに予算に関する建議・要望	福田知事	江連会長、佐橋専務、林業団体連絡協議会役員
11月17日	令和6年度当初予算等における林野公共・非公共事業予算要望	栃木県選出自民党国会議員	江連会長、佐橋専務、林業団体連絡協議会役員

栃木県誕生150年記念協賛行事「第51回森林組合の日」開催



挨拶する福田知事



県森連基本理念の唱和



講演する栃木県 篠崎氏



講演する岐阜県森連 岩木氏

8月最終木曜日を「森林組合の日」と定め、森林組合の活動推進による林業の振興を目指して、行事を行っています。

8月31日(木)に宇都宮市文化会館で栃木県誕生150年記念協賛行事として開催し、関係者約300人にご出席をいただきました。

「共販事業を改革し、魅力ある林業の実現を目指そう」をテーマに、栃木県誕生の歴史等を県生活文化スポーツ部篠崎氏に、直送販売での取扱量の多い岐阜県森連の事例を岐阜県森連岩木氏に、ご教授いただきました。

今後、本講演を森林組合系統の発展に活かしていきます。

全国森林組合連合会代表者大会に出席

10月24日(火)に東京銀座ブロッサム中央会館にて、令和5年度JForest全国森林組合代表者大会が全国森林組合連合会主催で開催されました。大会では、江連会長が「森林整備のための財源確保」について意見を表明しました。

今後森林組合が事業を拡大するためには、森林整備に係る国の予算の安定的な確保が必要不可欠です。

また、人材育成や高性能機械の導入にも今まで以上の手厚い助成を必要としており、次年度予算が十分に確保されるよう、森林組合関係者が一丸となって要請活動を展開したい旨、参加者約600名に向けて賛同と協力を求めました。



意見表明する江連会長

栃木県で4月より林業大学校が開講



県内新規林業就業者が67名(2022年度調査)で過去最多となり、林業就業への注目度が向上しています。そんな中、栃木県では令和6年4月より「栃木県林業大学校」が開校します。森林・林業・木材産業に関する幅広い知識と専門的な技術を、1年間を通して学ぶことができます。

栃木県によると「高い志をもってこれからの林業をリードする人材を養成します」としていることから、県森連としても、共に県内林業を支えてくれる人材の育成に期待しています。



とちぎの元気な森づくり県民会議からのお知らせ



＜伐採後の植林＞



とちぎの元気な森づくりについてはこちら

＜シカ等による苗木食害対策＞



検索



令和5年度

栃木県誕生150年記念 栃木県優良木材展示会を開催

栃木県誕生150年記念協賛行事として「令和5年度栃木県優良木材展示会」を鹿沼木材共販所(11月1日)、矢板木材共販所(11月17日)、大田原木材共販所(11月22日)に栃木県との共催で開催しました。

本年も展示会を無事に開催できたことは、関係森林組合のご尽力はもとより、組合員の皆様をはじめとします関係各位のご協力の賜物です。心より感謝申し上げます。



優良材の展示(鹿沼木材共販所)



結果概要

会場	月日	数量(m³)		販売率 (%)	販売金額 (千円)	販売単価 (円/m³)	応札者数
		出荷数量	販売数量				
鹿沼	11/1	4,568	4,568	100	82,693	18,104	61
矢板	11/17	3,042	3,042	100	55,340	18,191	42
大田原	11/22	5,258	5,258	100	91,937	17,486	54
合計		12,867	12,867	100	229,970	17,872	157
前年		13,092	13,092	100	206,584	15,779	173
前年比(%)		98	98	100	111	113	91

農林水産大臣賞

銘柄	出品者	森林組合
ヒノキ 小丸太	国立大学法人 宇都宮大学	たかはら

林野庁長官賞

銘柄	出品者	森林組合
ヒノキ 大丸太	大貫 勲一	鹿沼市

栃木県知事賞

銘柄	出品者	森林組合
スギ 小丸太	両郷牧場共有	大田原市
スギ 中丸太	藤本 さよ子	たかはら
ヒノキ 中丸太	大嶋 康平 外1	日光市

関東森林管理局賞

銘柄	出品者	森林組合
スギ 小丸太	大塚 勝徳	粟野
ヒノキ 大丸太	菊池 裕二	大田原市
スギ 大丸太	穂積 良一	那須町

受賞者のご紹介

栃木県森林組合連合会長賞

銘柄	出品者	森林組合
スギ 小丸太	星野 廣邦 外1	日光市
スギ 中丸太	青木 洋一	みかも
ヒノキ 小丸太	下山 明	みかも
スギ 大丸太	渡辺 保	鹿沼市
スギ 中丸太	昇光路共有 直臣 真公寿	粟野
ヒノキ 小丸太	関口 真弘	粟野
ヒノキ 中丸太	池田 文枝	たかはら
スギ 小丸太	大崎 一之	たかはら
ヒノキ 小丸太	玉山 浩市	たかはら
スギ 大丸太	大島 孝子	たかはら
スギ 大丸太	蓮実 清子	大田原市
スギ 中丸太	大森勇 外2名	郡須町
スギ 中丸太	藤田 明子	郡須町
ヒノキ 中丸太	伊藤 博康	那須南
ヒノキ 小丸太	小出久雄・金子直人	那須町
ヒノキ 小丸太	高久 ミツ子	那須町

銘柄	出品者	森林組合
ヒノキ 大丸太	大塚 幸子	宇都宮市
スギ 大丸太	佐藤 清吾	日光市
スギ 大丸太	宇都宮市	宇都宮市
スギ 小丸太	池田 則之	日光市
スギ 小丸太	福手共有林代表 松原延寿	芳賀地区
ヒノキ 小丸太	妙見寺	粟野
スギ 中丸太	小川 修治	たかはら
ヒノキ 小丸太	根本 幸子	たかはら
ヒノキ 中丸太	佐藤 吉輝	たかはら
スギ 大丸太	君島 健雄	たかはら
スギ 小丸太	大武 正	那須南
スギ 大丸太	佐川 利夫	大田原市
ヒノキ 小丸太	菊地 良子	那須町
スギ 小丸太	屋代 イサ	大田原市
スギ 小丸太	高野 譲司	那須南
ヒノキ 小丸太	郡須塙原市有林	那須塙原市

大田原木材共販所 選別機更新工事開始

令和6年は設備老朽化に伴い、選別機更新工事を行います。大田原木材共販所の事務所側土場が工事範囲となります。工事期間中は木材置場の縮小や工事車両の出入り等でご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願ひいたします。

工期：令和6年1月9日～令和6年7月10日予定
設計監理：（株）創建設計
選別機工事：（株）シーケイエス・チューキ
建屋工事：（株）浜田屋組



令和5年12月25日 地鎮祭の様子

ドローンによる苗木運搬実行の結果

県森連では、令和4年度にスマート林業化促進の一貫として運搬用3台・測量用1台・薬剤散布用1台の計5台のドローンを導入しました。令和5年度は、試験運行や緑の雇用研修でのデモンストレーション、苗木運搬作業の業務委託をいただくなど、徐々に活用を進めてきました。

もっと多くの方に県森連のドローンを知ってご活用いただるために、昨年度、鹿沼市森林組合より受託した苗木と獣害対策資材運搬の事例についてご紹介いたします。

フォワード等の車両で運搬できない箇所や作業道より上部側に位置した、人力による運搬が不可欠なポイントでのドローン活用の参考になれば幸いです。



荷下ろし箇所の様子

1. 受託業務内容

委託者：鹿沼市森林組合

実施期間：令和5年11月29日～12月1日

運搬資材：コンテナスギ 5,500本、獣害対策資材(筒号) 5,500組

場所：鹿沼市板荷地内の皆伐地

内容：植栽面積13ha、植栽本数1,500本/ha、38箇所下ろし(苗木150本、資材150組/1箇所当たり)



○1日目荷下ろし箇所 ●2日目荷下ろし箇所 ○3日目荷下ろし箇所 ○発着場所

2. 施工状況

飛行回数：4回/1箇所あたり

内訳：苗木 1回(コンテナスギ150本、約21kg)

獣害対策資材 3回(筒号50組、約18kg)

荷造り担当：県森連(苗木)

鹿沼市森林組合(獣害対策資材)

作業人数：県森連 3名(メイン、サブオペレーター)

荷掛け等の補助員 各1名)

鹿沼市森林組合 2名

(サブオペレーターの誘導、
運搬物の移動等)



苗木荷造りの様子



獣害資材荷造りの様子

3. 実施結果

総運搬数量：苗木31回(コンテナスギ4,450本 約580kg) 獣害対策資材103回(筒号5,150組 約1.9 t)

運搬面積：約3.4ha

作業時間(現地)：15時間

運搬費用：180,000円/ha(苗木運搬：45,000円/ha、獣害対策資材運搬：135,000円/ha)

運搬距離及び運搬時間：最遠点 水平距離約500m 高度差240m 往復運搬時間5～6分

最近点 水平距離約130m 高度差30m 往復運搬時間1～2分



◆森林組合の職員の方のコメント◆

- ドローン運搬により苗木と資材運搬の労働負荷が軽減され、作業時間の短縮に繋がった。
- ドローンでやってもらい非常に良かった。



4. 運搬にかかる標準金額（案）

	1日あたり運搬数量		1haあたり運搬金額(円/ha)	
	苗木(本)	獣害対策資材 ：筒号(組)	苗木	獣害対策資材 ：筒号
1500本/ha	4,000~7,000	1,500~2,500	50,000	150,000
2000本/ha	6,000~9,000	2,000~3,000		
2500本/ha	8,000~11,000	2,500~3,500		

諸注意

※資材は筒号を運搬する場合の数量および金額となります。

※数量は現地の状況や運搬距離、荷造りの実施の有無等により変動いたします。

※最大積載重量が25kgのドローン【森飛25】を使用した場合の数量及び金額となります。

※最低運搬金額が250,000円からとなります。

終わりに

県森連では、資材運搬の他に、GPSから得られる位置情報の精度を上げるためのRTK機能が付いた測量用や薬剤散布用等、各種ドローンを保有しており、会員皆様の労働生産性向上や労働安全の確保に幅広くご利用いただけます。

なお、上記標準金額については、作業現場や内容等により変動します。詳細や作業委託については、県森連業務課までお気軽にお問い合わせください。

しいたけ原木の配送を開始

東日本大震災に伴う原発事故から10年以上が経過しますが、県内のしいたけ原木林は広範囲に汚染され、依然として安全な原木の需要を賄える状況にあるとは言えません。

そのため県森連では、平成24年から引き続き、安全・安心な原木を供給するため、西日本産原木を中心に県外からしいたけ原木を移入しています。令和4年から5年にかけては、全国森林組合連合会を通じて大分県・愛媛県・熊本県・宮崎県から約14万本の原木を調達しました。

令和6年1月になり、本年分の配送を開始しております。今後もより多くの生産者様に配分できるよう、調達や検品等を行ってまいります。

さらに、一日も早く県内産の安全な原木を生産者にご利用いただくため、県内原木林の萌芽更新や植栽による再生に向けた実証的な取組も併せて行ってまいります。



「緑の雇用」による人材の育成

森林ワーカーの技能向上を図るため、本会では林業経験の少ないワーカーを対象に講習や実習を行う「緑の雇用」事業による研修を実施しています。

FW研修では、年次に応じて、様々な技能を身につけられるよう、集合研修で知識の習得や資格取得を行ってきました。さらに、現場での実習に加えて、林業ICTとして、ハーベスタシミュレーター、ドローンなど、最新機材も活用しました。FW集合研修は、12月中に全過程を終了できました。

なお、OJT研修において現場で指導役を担う方々のFL研修については、茨城県の受講生7名も受入れて25名で実施しました。



間伐実習（FW1）



ハーベスタシミュレーターでの訓練（FW3）

「緑の雇用」研修事業の修了生数の結果 (単位：人)

事業体名	TR研修	FW研修			FL研修	FM研修
		1年目	2年目	3年目		
たかはら森林組合	4	2	1			2
栗野森林組合				3		1
那須町森林組合	2	5				3
鹿沼市森林組合		3	3	2		
那須南森林組合	3	1			1	3
大田原市森林組合	1	2	2	2	2	
芳賀地区森林組合		3			2	2
日光市森林組合	2	2	2			1
その他事業体(茨城県受入れ組合)	3	2	4	7	10	2
計	15	20	15	14	25	2

「森の仕事ガイダンス」を宇都宮で開催

優秀な林業労働の人材を確保するため、11月18日(土)に宇都宮市内で「森の仕事ガイダンス」を開催しました。7森林組合を含む15の林業事業体等と本会が相談ブースを設け、林業に関心を持つ方々に対して説明や相談に応じました。

参加者は、本県在住者を中心に東京都、埼玉県、群馬県、千葉県、神奈川県、茨城県などから28人が相談に来場されました。参加者数が若干少なかったものの平均年齢は35.6歳と若く、各ブースでは、仕事の内容や待遇、採用までの流れ等について熱心な質疑・応答が続き、終了時刻間際まで活気あるガイダンスとなりました。



各ブースでの個別相談風景

東京都内で開催された「森の仕事ガイダンス」や「ミニガイダンス」にも参加

新規に林業に就業する方の県外出身者が増加傾向にあることから、本会では県外の方々へのアピールや取込みが重要と考えています。そのため、都内で開催された「森の仕事ガイダンス」などの就業関連イベントの積極的に参加してきました。



12/2東京国際フォーラムでの中央ガイダンス

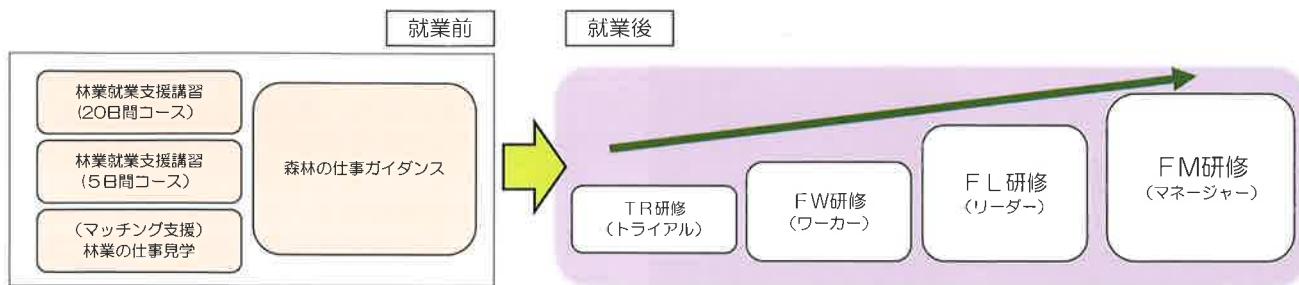


9/17東京国際フォーラムでのミニガイダンス

現場作業の組織体制を強化するためには、林業に関心のある方々に次の就業までの各段階で適切にサポートし、意欲と能力のある林業就業希望者を確実に確保することが重要です。

そして、就業後においては、国庫事業などを活用して必要とされるスキルを付与する必要があります。

本会においては、前段の就業前の方々から就業後も経験に応じて、体系的に人材育成に取り組んでいます。



「林業就業支援講習会」（5日間・20日間）を開催

8月1日からの5日間コースでは、栃木県を中心に東京都、神奈川県、埼玉県から9名が受講しました。短い期間の中で、林業の基礎知識、植栽、枝払い、現場見学などをして林業への理解を深めていただきました。

林業就業支援講習



20日間コース R5.11.1-11.18



基礎知識の理解



スギ苗の植栽（20日間コース）



スギの伐倒（20日間コース）



スギ苗の植栽（5日間コース）



刈払い機の実習（20日間コース）



手鋸で枝払い（5日間コース）

「林業の仕事見学」を開催

各種広報ツールにより林業の仕事の広報・説明に努めてきましたが、実際の現場を直接見て、林業への理解を深めていただこうと9月30日に「林業の仕事見学」を開催しました。10名定員で募集したところ、東京都、埼玉県、群馬県、栃木県から13名が参加しました。

日程の初めに、林業の基礎を簡単にレクチャーした後、実際の作業現場に向かい、見学していただきました。現場責任者や従事者の方からも、生の声をお聞きすることも出来ました。

林業就業を希望される方々は、事前にYouTubeなどで情報を集めているので、一定の基礎知識をお持ちでしたが、実際の現場を見ておらず、「機械化された伐採作業に驚かされた」や、「移住に際しての当該市の支援策なども参考になった」などの声が聴かれました。今後も、就業後のミスマッチを回避するためにも、引き続き実施したいと考えています。



森林施業現場の見学(日光市森組)

県民の森のコーナー



県民の森は県民の皆さんに豊かな自然とのふれあいを楽しんでいただくため、昭和49年に明治100年を記念して設置され、今年度で設立50周年となりました。

「たかはらの森管理グループ」(栃木県森林組合連合会、たかはら森林組合・高原林産株式会社)は、栃木県県民の森の指定管理業務を平成25年4月1日から開始し、本年で11年目を迎えています。

今期の指定管理期間は、令和8年3月31日までとなっており、今年度も栃木県県民の森の指定管理者として引き続き管理・運営をさせていただいております。



令和5年度は、コロナウイルスの感染拡大が落ちつき始めたことにより、森林展示館、マロニ工昆虫館の運営やイベント開催についてもコロナ禍以前の状態に戻るよう尽力し、常にお客様の安全と利用者サービス向上を目指した県民の森の管理を行ってまいりました。

コロナ禍で減少していた団体利用は、学校関係をはじめ、多くのお客様のご来場により増加し、ハイキングやクラフト体験を楽しんでいただく事ができました。

今後の取組として、キャンプ場のインターネット受付の開設や更なる利用者数増加を目指し広報に力を入れたいと考えています。

また、「森の集い」等各種イベントも引き続き、多数開催していきます。

終わりに、これまでの経験と実績を活かしながら、新たなことへの「挑戦」を忘ることなく、お客様が安心して県民の森をご利用いただけるようスタッフ一同万全の体制で、接客対応をさせていただきますので皆様のご来場を心よりお待ちしております。今後とも変わらぬご声援をいただければ幸いです。

県民の森【自然情報】



オオルリ



カタクリ



ミヤマクワガタ

春になると夏鳥のオオルリがやってきたりと、1年を通じ様々な野鳥を観察することができる絶好のフィールドです。

早春のカタクリから始まりツツジ類やレンゲショウマなど季節の草花や野草をハイキングしながら楽しめます。

川、池、野原、山と様々な環境があり、昆虫の種類も多いです。夏場には、昆虫採集に来るご家族のお客様で賑わいます。

